



Madrid 2008  
41<sup>st</sup> Annual Meeting  
Board of Governors  
Asian Development Bank

# News Release

ADB

ASIAN DEVELOPMENT BANK

## アジア開発銀行、新たな気候変動基金を創設へ

【マニラ、2008年5月5日】 アジア開発銀行 (ADB) は、気候変動の影響を緩和し、アジア・太平洋地域の各国が地球温暖化に対応するため、新たに「気候変動基金」 (Climate Change Fund) を設立することを明らかにした。基金の当初拠出金は4,000万ドルであるが、各国や他の開発援助機関、基金、民間企業などからの追加拠出も可能としている。

ADB 協調融資業務部 (OCO) のヴェルナー・リーパック (Werner Liepach) 部長は、「基金の目標は、地球温暖化の原因と結果の究明を念頭に、アジア・太平洋地域の途上国に対する投資を拡大すること。具体的には、この基金は技術協力や投資プロジェクト、研究活動などに対するグラント (無償援助) に活用される。ぜひ、多くの関心ある方々にこの基金にご参加いただきたい」としている。

地域・持続的開発局 (RSDD) でエネルギー・運輸・水を担当するウーチョン・ウム (Woochong Um) 課長も、同基金によってリソースが拡充すれば、個別環境プロジェクトに対する融資はもちろん、クリーン・エネルギーやカーボン・ファイナンスといった従来の個別削減策から、現実に一層適応したより総合的なプログラムに発展しうるとした上で、「この基金によってADBは、低炭素経済への移行支援や気候変動に強いインフラの確立だけでなく、生活様式、住民移転、および健康に対する変化といった気候変動に併発する広範な社会的脆弱性の問題の克服にも取り組むことができる」としている。

アジア・太平洋地域は [気候変動の影響](#) を特に受けやすいとされ、2020年までに約12億人が新鮮な水の不足に直面するほか、中央・南アジアでは2050年までに農作物の生産高が現在の半分に落ちるとされる。バンコク、ジャカルタ、カラチ、マニラ、ムンバイ、上海といった沿岸主要都市は、洪水被害を受ける可能性が高くなり、ツバル、モルディブや Bangladesh 沿岸部の住民は今世紀中に「気候変動難民」になる可能性も指摘されている。

---

### お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

ADB のニュースリリース (和文) は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

ウム課長は、「現在、アジアの開発途上国は他の地域に比べ急速に次々と新たな温暖化ガス排出国の仲間入りをしており、アジアの開発途上国だけでまもなく最大の排出源となるだろう。この基金は世界中から集まった資金をプールし、投資を促進しつつこの問題に対処することが期待される」と述べた。

A D B は 10 年以上前から気候変動問題に取り組んでおり、アジア・太平洋の各国に対し、エネルギー効率向上や再生可能エネルギーをはじめとする低炭素インフラに対する新しい投資金融メカニズムを提示してきている。今回の新基金は、各国が気候変動に適応し、その被害の拡大をくいとめるための投資を促進する取り組みの一環として創設された。

---

**お問い合わせ先**

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

A D B のニュースリリース (和文) は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>